

# 木の優しさと鉄の強さをあわせ持つ信頼工法、テクノストラクチャー。

在来木造軸組工法の良さを生かし快適な住まいを作り出す、パナソニック耐震住宅工法テクノストラクチャー。

構造体の強度を大きく左右する梁部分を、木と鉄骨の複合梁「テクノビーム」で強化し、バランスのとれた強靱な躯体を実現します。

パナソニック耐震住宅工法  
**テクノストラクチャーの家**



**長期優良住宅  
対応!**

※申請には不定の手続きのため、別途確認が必要です。

## テクノストラクチャーの住まいから生まれる「安心」と「快適」



### 高耐震

テクノストラクチャーの家は地震に強い家。実物大の住宅を巨大な振動台にかける「実大振動実験」を実施したところ、阪神淡路大震災と同等の震度7でも構造体の損傷・変形はなく、5回の激震にも耐える高い耐震性が立証されました。



### 広々空間

テクノストラクチャーなら、最大開口約6.0mの大空間や、大きな開口部を実現。空間活用の幅もぐっと広がります。



### 自由度

耐力壁でない壁は「フリーウォール」として設置位置が自由。思い通りの間取りや、ご家族の将来を考えたプランが実現できます。



### 快適環境

高い断熱構造なので、快適な暮らしが実現。また、断熱性能が高い住宅は部屋毎の温度差も出にくく、オープンな空間にぴったり。家全体をひとつの空間としてのびのび使えます。

## 安心の秘密

### ①テクノビーム・集成材柱

テクノビーム

集成材柱

オリジナル接合金具

テクノストラクチャーでは、家を支える大切な梁に鉄と木の複合梁「テクノビーム」を採用。接合部も金具で強化し、ムクの柱の1.5倍の強度を持つ集成材柱でさらに耐震性を高めています。

**木製梁**  
長期間の荷重でたわみがどんどん増加することがあります。

**テクノストラクチャー**  
梁の強さが大空間を支えます。

※ムク材平成12年建築省告示第1452号に定めらる「すき目無等級材」  
※集成材平成13年国土交通省告示第1024号に定めらる6等級等価E96-F315集成材

### ②オリジナル接合金具

かね金具

ドリフトピン

箱型金具

大引金具

各構造材の接合部には、オリジナル接合金具を採用。構造材をガッチリと繋結し、高強度を実現します。

ドリフトピン

ほぞ金具

柱と梁はほぞ金具とドリフトピンでガッチリと接合します。一般的な接合金物を使用した場合と比べ、柱の引抜き強度は約3倍です。

片筋かいとオリジナル接合金具とのコンビネーションによって、壁倍率2.5倍を実現しました。

### ③構造計算(災害シミュレーション)

お客様の家を実際に建てる前に、コンピューター上で、地震や台風などの力を再現し、その力に耐えうる住まいかどうかを検証するシステムです。388項目の検証項目を設けて、構造強度を徹底的に検証します。さらに、お客様にお引渡しされる住まいには、すべての項目をクリアしたことを証明する、構造計算書をお付けしています。

構造計算書

388項目を徹底的に検証

## 快適さの秘密

### ひとと環境へのおもいやり。次世代省エネルギー基準<sup>※</sup>対応の省エネ住宅です。

家全体を、次世代省エネルギー基準の高い断熱性能とすることにより、屋外の不快な温度をシャットアウト。広いリビングや、リビング階段のあるお家でも省エネルギーで快適な暮らしが実現します。

### 冷暖房費節約効果

次世代省エネ基準の断熱仕様になれば節約効果か!



【計算条件】  
使用ソフト: SMASH (住宅の熱負荷計算プログラム) / (財)BEC、気象データ: 2000年気象観測データ(気象庁) / 居室: 居室1室、空調設定: 夏26℃、冬20℃  
居室設定温度: 20℃ 冷房設定温度: 27℃、換気: 換気扇常時稼働(11月5日~4月18日) [日平均外気温の平均値が15℃以下の期間、冷房稼働(4月19日~11月4日) 稼働期間以外の期間]、電力消費率: 22 [円/kWh] (社団法人日本建築電気協会) 正誤別電気料金(住宅用) [円/kWh]、サッシ: 断熱アルミサッシ複層ガラス、新省エネ準アルミサッシ複層ガラス(A6)、次世代省エネ基準 アルミ樹脂複合サッシLow-E複層ガラス(A12)住宅用アルミ樹脂複層サッシ

### 窓まわり(アルミ樹脂複合サッシ+Low-Eガラス)

優れた断熱効果のサッシとLow-Eガラスにより、室内外の温度差による結露を防ぎ、外気の室内への流入も防ぎます。ガラスには紫外線カット効果も。



※次世代省エネルギー基準とは、2009年に改正・告示された、住宅に係るエネルギー使用の合理化に関する基準であり、住宅の省エネに対する重要な目安です。断熱性能等の一定基準を定め、それをクリアした建物は断熱性能について最高ランクとして扱われます。